

《第 29 回 沖縄呼吸ケアセミナー 感想》

2月11日（土）第29回沖縄呼吸ケアセミナーが開催されました。

祝日にも関わらず180名の受講生が参加され大盛況で終えることができました。

教育講演1では、豊見城中央病院 高橋先生が、肺や心臓の疾患を持つ患者さんへのリハビリテーションをどのように考えて実践していくかを詳しく説明していただきました。急に動くことで肺や心臓に負担がかかるため、ウォーミングアップから開始することが望ましく、本人に適した運動強度を決め それを越えないことが重要となること、また終了時にはクーリングダウンも必要であると改めて知ることができました。

特別講演では、広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 救急集中治療医学 教授の志馬伸朗先生に「呼吸管理の常識と日々の実践を見直す」をテーマにご講演していただきました。開始数分で「酸素は誰でも気軽に使える危険な薬剤であり、酸素は毒である」と教えていただき衝撃を受けました。SPO2:100%はいいの

か、悪いのか。日常の管理の中で酸素投与して SPO2:100% という患者さんを見かけることがあるのですが、それが果たして正しいのか…考え直さなければならぬなあ、と気付きました。SPO2 低下を認めて酸素投与を開始して SPO2 が改善しただけでは、原因が分からない状態です。酸素は、ただの対症療法に過ぎないので、酸素投与で SPO2 上昇 = 解決にはならないのです。とても興味深い内容で先生のお話に夢中になってしまいました。

教育講演 2 では、県立北部病院の山川先生に、血液ガス分析を見て「やばい！」に気付く方法を伝授していただきました。酸塩基平衡について天秤を使いながらの分かりやすいスライドで説明してもらいました。途中、実際のデータを見ながらの練習問題もあり受講生のみなさんも真剣に解いていました。

PH:7.2 はやばい！代謝性アシドーシスはやばい！P/F<250 はやばい！

血液ガスのデータを最初に見る私たちが、異常に早く気付く事で患者さんのことを救うことができるのです！！

どの講義も明日からの臨床に活用できるような実践的な内容の講義でした。

参加された皆様、お疲れ様でした。

講義してくださいました先生方、大変ありがとうございました。

次回の第 30 回沖縄呼吸ケアセミナーは 9 月に、人工呼吸器を実際に触って理解するハンズオンセミナーを予定しています。臨床に活かせること間違いなしの楽しいセミナーを準備しますので、多くのご参加をお待ちしております。

※詳細は決まり次第ホームページに載せていきますのでご確認ください。

沖縄呼吸ケア研究会 榎本綾子